

望岳窓俳漫筆

附録・仏頂禪師の研究

高木蒼梧著

40年の集績

B 6 判
上製函入
~~¥ 850~~



● 東京文献 ●

東京文献センター既刊近刊書目

文学碑半代記	特許半代記	蕎麦半代記	限定本半代記	古本半代記	刀劍半代記	俳句半代記	書痴半代記	趣味馬鹿半代記	半代記シリーズ
本山桂川	滝野文三	新島繁	内藤政勝	八木福次郎	新市郎	八幡城太郎	岩佐東一郎	酒井徳男	（B6判・美装貼函入）
統刊	統刊	統刊	統刊	近刊	九五〇円	五八〇円	五八〇円	五八〇円	

東京へそまがり散歩	処女作・人と作品	駄菓子駄汁紛	妻科の家	実用そば辞典	随筆	芭蕉とその周辺	萩原朔太郎と	芭蕉の自我と救い	現代国語学研究序説	評論・研究
植原路郎	酒井徳男	岩佐東一郎	田中冬二	植原路郎		岡村健三	大森五郎	福田真久	福田真久	
B6 統刊	B6 統刊	B6 統刊	B6 八五〇円	A7 三五〇円		B6 統刊	B6 近刊	B6 四八〇円	A5 品切	

東京文献
センター

東京都千代田区飯田橋 3～6～8
高橋ビル 3号室 / 電 263-0961
振替口座 東京 17430番

呈内容案内

序文／鈴木芳如氏（こよろぎ主宰）

読書の際気をついたことを、書め留めた古手帖等身もたぐな
らず。たとへば「八十年を三つ見る」で、先づ野水の句を挙げ
て置き、類推するに足るような句に気をつける、幾年かして道
彦の句を見つけ、更に雨塘の句を得て書き込むといふやり方。
昭和七年頃から初めたから、三十七年位になる。（以下略）

（「望岳窓雑記・はしがき」より）

望岳窓雑記

はしがき

- 八十年を三つ見る／4
- しらら・たけとり／2
- 清水流るゝの柳／1
- 春雨る／3
- 紀伊の八莊司／7
- 蚤が茶臼負ふ／4
- 若木／2
- 「渺々と」の句の作者／9
- 御秘蔵／4
- 瓢箪の川流れ／6
- 赤穂義士と蕃山先生／1
- 日傘御法度／2
- 夏足袋／2
- 亀の看経／2
- 外来語と擬外来語／9
- 袋洗ひ／2
- いつとろ、うつとろ／3
- 蜃気楼と虹／2
- 暮寒し／1
- 萱草／1
- 一二の橋／2
- 洪流し
- 竹酔日／1
- 隠れ座頭／1
- 鯉の河豚
- 文字
- トイキン／1
- 玄白と服部／2
- どんみり／3
- 楊貴妃と俳句／4
- 遊女と足袋／5
- もどき／7
- 黒札／3
- 大根引／2
- ぜさいの車／7
- 猿翁神の落穂
- 幼女分婉と一茶の日記

冠山の女つゆ子／1

紅裏／7

眉間尺／4

役者海老／1

高寿の俳人／2

富士山の句／12

山の句集／1

角文字／16

表裏同形文字と俳句／2

曹娥碑の文字

猫の恋／2

猫の五徳／2

猫の声

黒猫／5

殿上の猫／1

京町の猫／2

猫の蛇／6

山猫／3

猫のこわいろ／3

太祇遺韻／1

義士俳人進歩／16

其角断片／6

嵐雪断片／4

びろびろ隠居／6

ことちろ——せつろし／3

水祝ひ／4

白絲餅／5

順礼と比丘尼／58

びいどろ／20

望岳窓のをり／16

元日やされば野川の水の音／3

無用の疑問か

句の売買と一句の合作／2

嵐雪の近江八景／8

書目集覽

実盛の兜／2

川柳に転和された俳句／44

濁点／2

正座の仏像／2

待宵の小侍従と物かはの藏人／14

己が音の少将の歌の俳化／4

越人の享年その他／15

洒落俳人定雅 他

（下段数字は収録俳句数）

附録 仏頂禪師の研究

芭蕉の伝記或は思想を云々する者は、必ず芭蕉が仏頂に参禅
した事をいふ。それは『奥の細道』や『鹿島紀行』によっても
想像されるところであり、蕉門の人々もさう書いている。又芭
蕉の人物或は作品を論評するには、禅といふ尺度を外しては正
鵠を得ること難いものがあり、仏頂は芭蕉の思想的背景をなす
第一者である。（以下略）（「仏頂禪師の研究・はしがき」より）

序 「連歌俳諧研究」十八号～二十二号所載全篇収録

第一／仏頂行状録

第二／鹿島神宮との訴訟

第三／仏頂の思想方面について

第四／芭蕉の参禅と臨川寺史

付録

仏頂関係著者執筆目録

（別に特装本刊行・限定百部）